

THE UKI NEWSLETTER

「デジタル田園都市国家構想推進交付金」に採択 全ての人にデジタル化で心豊かな暮らしを

ソサエティー
Society5.0社会の実現へ

市では、IoT や AI を駆使し、
全ての人とモノがつながって新
たな価値を生み、必要な情報が
必要ときに提供される社会
「Society5.0」の推進を掲げてい
ます。

このような中、4月1日、国が
進める「デジタル田園都市国家
構想推進交付金」の採択を、宇
城市が受けました。

図 情報政策課 ☎32-1114



河川やため池などの水位を、デジタル端末で確認できるようになります

2つの交付金事業

デジタル田園都市 国家構想推進交付金

デジタル実装を通じて地方が抱える課題を解決し、誰一人取り残さずデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしの実現のため、国が設置した交付金。デジタルを活用し魅力向上に取り組む、意欲ある地域の支援を目的としている。

この交付金事業では、市が提案した「データ連携共通基盤構築と行政情報配信による市民サービス向上」、「デジタル化が実感できるオンライン誘導型窓口の実現」の2件が採択されました。

2つのサービスは今年度中に開始予定。積極的に行政サービスのデジタル化を充実させていきます。

データ連携基盤の構築と行政情報の配信

庁内に業務ごとで個別にある地理情報システム（GIS）を統合し、市民がインターネットで確認できる公開型GISを構築。自身の端末から市が保有する都市計画図や観光情報などを閲覧できます。

eスポーツの推進で 地域課題を解決

eスポーツとは

2021年にIOC（国際オリンピック委員会）がeスポーツの公式大会開催を発表。国内では、専門学校が誕生するなど、今、eスポーツが注目されています。

自治体とeスポーツ

eスポーツを福祉の分野で活用しようと自治体でも取り組みが始まっています。

美里町では、eスポーツを通じて、まちづくり事業を実施。その一環で高齢者の認知機能の維持や向上、認知症予防を図るため、パズルゲームや音楽ゲームなどの体験・対戦が行われています。

民間企業との共創



締結式では、7月1日に結成した松橋高校の「松高DX」の生徒と一緒に、守田憲史市長もeスポーツを体験



6月17日、市では、イオンモール株式会社（イオンモール）、一般社団法人熊本eスポーツ協会（eスポーツ協会）と連携協定を締結。

多世代交流やデジタル技術の推進、市民の健康づくりなど、幅広い分野でeスポーツの可能性を追求し、地域活性化を図ります。

これは、魅力あるまちづくりを目指す市と、イオンモールの地域貢献に対する思い、eスポーツの普及を進めるeスポーツ協会の三者の理念が一致し、実現したものです。

今後は、eスポーツやデジタル社会を学ぶことができる新たな拠

図 市長政策課 ☎(32)1803



点の整備をはじめ、スマートフォン教室や動画編集教室を開催するなど、時代のニーズに即した事業を展開していきます。

また、「全国都道府県対抗eスポーツ選手権2022 TOCHIGI eFootball部門」の熊本県大会を宇城市で開催します。

日程 7月18日（月）11時（予定）
場所 イオンモール宇城
オアシスコート

会場には、全世代の観客が楽しめるよう、eスポーツの体験コーナーを設置します。ぜひ皆さんお越しください。



大会情報は
こちらから

オンライン誘導型の窓口へ

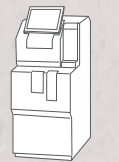
また、河川やため池などの防災重点箇所に水位計機器を設置し、GIS上に公開。防災ホームページなどでは分からない身近な防災情報が確認できます。これを付近住民や消防団などの迅速な防災行動につなげていきます。

マイナンバーカードの活用とキャッシュレス化を軸に、行政窓口のインフラ整備を実施します。

納付書のコンビニ対応
対象業務を増やし、スマートフォンで決済も可能に

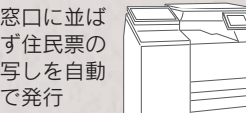
市民が使える
窓口用タブレット

インターネット接続
電子申請などが可能に



自動精算機
市民自身で税などの納付書払いができる

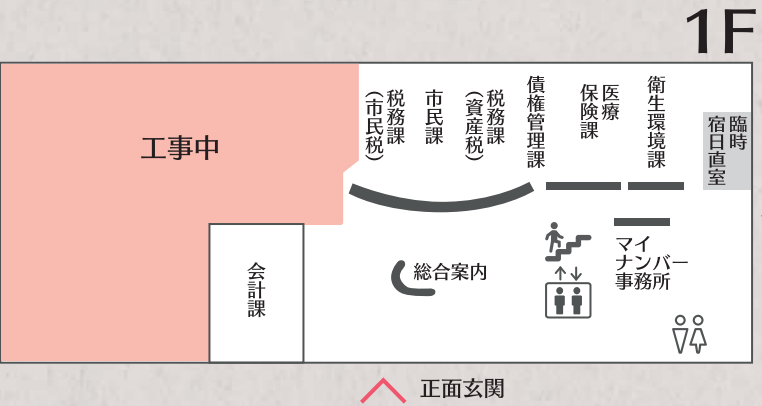
窓口のセミセルフレジ
個人で支払い方法を選択
キャッシュレス対応



マルチコピー機

窓口には並ばず住民票の写しを自動で発行

本庁舎1階北側の工事開始
執務室一部が南側に移転



北側からは入れません

移転期間 7月19日（火）～12月上旬

※宿日直室も仮移転します。夜間は電話でお問い合わせください。

図 公共施設マネジメント課

☎(32)1111